

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会

会 報

第547号

発行日 令和2年7月25日
担 当 湖西市立岡崎小学校
ことばの教室
〒431-0422
湖西市岡崎634-2
TEL 053-577-0043
FAX 053-577-0196

安心、自信、連携をキーワードに

湖西市立岡崎小学校 校長 近藤美保子

本校は独立校として認可されてから139年目を迎える歴史ある学校です。

大正4年に当時の校長が植えた「大王松」は本校のシンボルツリーとして玄関の前にそびえ立っています。その大王松が由来となって現在の学校教育目標「しっかり根をはり しなやかに立つ」ができました。地下の強固な根としなやかに揺れる地上の幹や枝葉で、百年を超える年月を生き抜いている大王松のように、どんな時代においても大切にしていきたい人としての土台と、時代の変化に合わせて柔軟に対応できるしなやかな強さをもった子供たちを育てていこうと、日々の教育活動に取り組んでいます。

全校児童数は778名。各学年4学級ずつで、特別支援学級は知的と自閉症・情緒学級が3学級ずつ6学級あります。通級指導教室は言語のみ2教室で、通う児童は本校が17名、他校が16名の計33名です。

通級指導教室があるのは、市内では本校のみです。本校の児童は、授業時間中に「取り出し」の形で指導を受けられますが、放課後に行う他校の児童の中には、指導をうけたくても送迎の関係で通うことができない児童もいます。また指導にあたる教員が、スキルを高めても転勤するとそれを生かす場がありません。通級指導経験2年目の教員が新しく配属された教員にノウハウを伝え、次の年には通級指導教室を離れるということもあります。

これらの課題もあるのですが、通級指導教室の果たす役割は、とても大きいと考えています。それは何と云っても、入級時と退級時との児童の変容です。確かな変容を感じられる通級の指導は、大きなやりがいを感じるものです。

そしてそれに加え、この教室での時間は、児童に安心を与え、自己肯定感を高める時間であることです。どの子も自信をもって話したり活動したりできるようになった姿に、通級指導教室がその子たちにもたらした大きな成果を感じます。

また本校が大切にしているのは、連携です。自校、他校ともに、在籍児童の学級担任と情報交換をして、指導について共通理解を図っています。また「ことばを育てる親の会」を組織し、保護者の悩みや家庭でのかかわり方についても話す場を設け、家庭との連携を深めることも行っています。



本校のシンボル大王松

これからも、安心、自信、連携をキーワードに指導を重ね、一人一人のニーズに応える「ことばの教室」を目指していきます。

子供の伸びを願い、つながる教室

～本校ことばの教室の特徴は、教室と保護者とのつながりの深さです～

保護者との確かな連携 〈親の会〉

保護者の皆さんや担当者との関係づくりに大きな役割を果たしているのが「ことばを育てる親の会」。総会の出席率は7割と高く、すべての子が、その子らしく伸びてほしいという共通の願いを実現するために力を合わせています。



〔保護者の感想〕

先輩のお母さんに悩みを話すことができとても安心しました。

子供の姿を思い浮かべた熱心な作業 〈学習会〉

教室参観週間に合わせ、保護者学習会を開くのが恒例です。



今回は、担当者が講師となり、簡単なトレーニングおもちゃを工作しました。手を動かしながらおしゃべりにも花が咲き、熱心で楽しいひと時になりました。

〔保護者の感想〕

普段は、なかなか舌を意識して動かすことはないので、家でも、楽しみながら練習しようと思いました。

親子で楽しい交流 〈お楽しみ会〉

保護者と担当者が企画運営し、毎年、年末にお楽しみ会を行っています。

今回は、小学校の体育館を広く使い、飾りつけをしたり、自己紹介やゲームをしたりしました。普段は顔を合わせる機会のない他校の人たちと会話がはずみ、思い切り楽しむことができました。



〔参加者の感想〕

こんにちはゲームで、お兄さんがやさしくしてくれたよ。また、会いたいな。仲間ゲームでは何人集まるかどきどきしたよ。仲良くなれてうれしかったよ。